

## 令和2年度教育事業 「はなやま通学合宿～自然の家から学校へいこう！～」

- 1 趣 旨 家庭から離れて、他の学校や異学年の仲間との共同生活を送ることにより、基本的な生活習慣を身に付けるとともに自立心や社会性、協調性等子供たちの「生きる力」を育む。  
また、同一中学校区の仲間たちとの交流を通して中1ギャップ解消に向けての素地を養う。
- 2 主 催 独立行政法人 国立青少年教育振興機構 国立花山青少年自然の家
- 3 共 催 栗原市教育委員会
- 4 期 日 令和2年12月10日（木）～12日（土）【2泊3日】
- 5 参加者 栗原市立築館小学校4～6年生の児童 23名  
栗原市立宮野小学校4～6年生の児童 14名  
栗原市立一迫小学校4～6年生の児童 10名  
栗原市立花山小学校4～6年生の児童 5名 合計52名
- 6 場 所 国立花山青少年自然の家

### 7 日 程

	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22				
1 日 目	※参加児童は、各小学校に迎えに行きます。												迎 え	オ リ エン テ ー シ ョ ン	夕 食	は な や ま タ イ ム ① 学 習 ・ 交 流 ・ 洗 濯 等	入 浴 休 憩 準 備	就 寝			
自然の家職員 & ボランティア																					
2 日 目	起 床	洗 面 ・ 清 掃	つ ど い	朝 食	出 発	各学校での学習・生活 ※登下校については自然の家のバス等で送迎します。										迎 え	オ リ エン テ ー シ ョ ン	夕 食	は な や ま タ イ ム ② 学 習 ・ 交 流 ・ 洗 濯 等	入 浴 休 憩 準 備	就 寝
自然の家職員 & ボランティア				学校職員										自然の家職員 & ボランティア							
3 日 目	起 床	洗 面 ・ 清 掃	つ ど い	朝 食	退 所 準 備	みなでもちつきをしよう！						別 れ の つ ど い	解 散	解散場所は花山青少年自然の家になります。 自然の家へお迎えをお願いします。							
自然の家職員 & ボランティア																					

### 8 活動の内容について

#### 【12月10日（木）1日目】「入所、はなやまタイム①」



#### 【12月11日（金）2日目】「登下校送迎、はなやまタイム②」





【12月12日（土）2日目】「野外炊事（もちつき体験）、別れのつどい」



## 9 成果と課題

### (1) 参加者アンケート結果

満足：88% やや満足：12% やや不満：0% 不満：0%

参加者51名（1名は初日のみ参加）に対して行ったアンケートは、全員満足群であった。総合的にみて好評であったといえる。

### (2) 参加者の声

- ・洗濯やもちつきなど、普段できない体験ができてよかった。
- ・他の学校の新しい友達をつくることができた。
- ・食べたことのない「えびもち」を初めて食べられてよかった。
- ・みんなと一緒にバスで登下校できて楽しかった。
- ・ミニ運動会や松ぼっくりを使っのクラフトが思い出に残った。
- ・洗濯の仕方や勉強などを職員さんやボランティアさんに分かりやすく教えてもらえた。

### (3) 保護者事後アンケートより

- ・少しずつだが、自分のことは自分でできるようになってきた。
- ・「明日から〇時に起きるね」と、すぐに合宿での経験を生かそうと意欲的だった。
- ・以前より素直にお手伝いをしてくれるようになった。
- ・協調性ももて、みんなと話をしたり、仲良く活動したりできるようになった。

### (4) 成果

- ・初日の夜に洗濯した物を最終日に身に付けさせるようにした。「初めて洗濯した」「お家の人のありがたみが分かった」等、自立心の育成とともに、家族への感謝の気持ちも感じさせることができた。
- ・部屋割りや活動グループを中学校区ごとにすることで、中学校入学直後の人間関係づくりの一助になったと感じる。
- ・「もちつき」という伝統文化、「えびもち」という郷土の食文化、そして講師として協力いただいた栗原市食生活改善推進員協議会の方々とのふれあい等、事業の主なねらい以外の成果も大きかった。

### (5) 課題

- ・初日の下校後、オリエンテーション（所内での生活について等）、宿題、洗濯と、慌ただしかった。日数を増やす、事業開始を日曜日にする、洗濯を2日目にするなど、何らかの改善が必要である。

担当：企画指導専門職 黒田 守道